

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

防衛医科大学校病院

項目	対応方針	具体的な方策	2021年度目標	2021年度評価	2022年度目標	2022年度評価
看護師の増員	看護師の増員要求	看護師の増員要求を行う	看護師の増員について機関要求を行い定員の増加を図る	2022.4 5名増員	看護師の増員について機関要求を行い定員の増加を図る	
業務量の調整	病棟間の業務量格差の評価と調整	重症度、医療・看護必要度評価 超過勤務評価 人員配置 応援態勢	重症度、医療看護必要度Ⅱへのスムーズな移行 超過勤務時間低減 重症度や夜間緊急入院の評価と適正な人員配置 臨時応援態勢の確立	コロナ専用病棟の状況により、一般病棟の人員配置を変動せざるを得なかった 10月より重症度、医療看護必要度Ⅱへ移行 重症度の病棟間格差はあり、看護人員配置で調整 毎朝、相互支援の調整を実施	コロナの状況をもつ、病院のBCPに対応して看護師を再配置する 相互支援態勢は維持する	
業務改善	業務改善により、業務の合理化と効率化を図る	クリティカルパスの推進 看護記録の効率化	クリティカルパスの作成推進 病棟別・診療科別 看護記録委員会を中心とした看護記録効率化の取り組み	全体のパス適用率は50%程度にとどまり、更なるクリティカルパスの推進が必要 看護記録の標準化が推進された	クリティカルパスの作成推進 病棟別・診療科別 Overview機能を活用した記録の効率化を推進	
看護師と他職種との業務分担	他職種との連携により看護ケアが実践できる時間を確保する	リハビリ職種との連携 臨床検査技師との連携 臨床工学技士との連携	病棟におけるリハビリ介入を増やす ICUにおける早期リハビリ介入を増やす 中央採血室の採血のゾーン制を導入することで、採血数の均てん化を図る 臨床工学技士の定員が増えたことによる業務分担の促進	ICUにおけるリハビリについては、リハビリ部と調整してICU看護師が早期に介入を行えるようになった 採血予約が集中する点は改善が難しく、朝の採血集中の緩和は今後の課題 ME機器の中央管理品目が増加し、臨床工学技士による点検・整備により安全性が高まった 看護補助者の明らかな増員は行えず、人員は未充足	病棟におけるリハビリ介入を増やす 中央採血室における看護師と臨床検査技師の業務分担を促進する ICU、透析室等による業務分担の促進	
看護補助者の配置	看護補助者を増員し配置	看護補助者の募集・配置 事務補助者の募集・配置 夜間看護補助者の募集・配置	看護補助者の採用および教育 事務補助者の採用および教育 夜間看護補助者の募集	1名採用したが退職した 募集が困難	看護補助者の採用および教育 事務補助者の採用および教育 夜間看護補助者を役員とする方向で検討中	1名採用
短時間正規雇用の看護職員の雇用	再任用（短時間）の配置促進	再任用（短時間）の配置促進	定年予定者への再任用制度の周知	2022年度再任用新規採用者2名	定年予定者への再任用制度の周知	2023年度再任用新規採用者5名（予定）
多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の採用	非常勤看護師の雇用	非常勤看護師の採用、特にフルタイム非常勤看護師の雇用促進	フルタイム非常勤看護師の新規採用が困難	非常勤看護師の募集を継続	
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する施策推進	院内保育所の利用促進 育児時間、育児短時間制度の周知 夜勤の減免 育児からの復帰部署の考慮	学校内託児所の活用促進 育児休業取得中の職員に対して、制度の周知 夜勤免除を考慮し、勤務継続できるよう配慮 育児休業中の職員と面談して、復帰部署の希望をとり、復帰部署を考慮	非認可のため利用者が増えていない 育短制度活用：15名 病棟に複数名ずつ夜勤免除者あり 多くは元の所属部署に復帰するが、夜勤のない部署を希望する者には考慮	2023.4認可保育園となる見込みのため、職員に周知 育児休業取得中の職員に対して、制度の周知 夜勤免除を考慮し、勤務継続できるよう配慮 育児休業中の職員と面談して、復帰部署の希望をとり、復帰部署を考慮	
夜勤負担の軽減	夜勤業務の負担軽減	3交代部署を2交代へ移行 夜勤ガイドラインの周知 夜勤後の超過勤務の低減	3交代部署を2交代へ移行する 夜勤ガイドラインについて教育し、どの病棟でもガイドラインが遵守できるようにする 夜勤後の超過勤務を減らす	救急外来を除き、病棟は2交代へ移行した 概ねガイドライン通りの勤務計画が作成できるようになった 3交代がなくなり、準夜勤の後の超過勤務はなくなったが、深夜勤の後の超過勤務は低減していない	16時間夜勤の部署を14時間夜勤へ移行する 夜勤の拘束時間を低減する 深夜勤後の超過勤務を減らす	